

大阪 あちこち

●日本民家集落博物館

—時を超えて日本の故郷を訪ねる—

●歴史ある民家を移築復元

豊中市の東部、服部緑地の一角にある日本民家集落博物館は、日本各地の代表的な民家を移築復元して、関連する民具と合わせて展示する野外博物館です。約3万6千平方メートルの敷地内に、北は岩手県「南部の曲家」から、南は鹿児島県「奄美大島の高倉」まで、12棟の民家が集められています。

いずれも江戸時代に建築されたものですが、昭和30年代まで生活が営まれていました。それぞれの地方の風土や習慣から生まれた様式が色濃く残され、自然と調和しながら暮らしていた人びとの知恵が随所にかがえます。今では現地にもほとんど残っていない貴重な建物です。

●日本初の野外博物館として誕生

博物館設立のきっかけは昭和31年、岐阜県白川村の合掌造りの民家が大阪府に寄贈されたことにさかのぼ



囲炉裏を囲んで。ボランティアが民家について語ります。



飛騨白川の民家（国指定重要有形民俗文化財）

ります。豊中市が熱心に誘致し、民俗博物館として利用することなどを条件に、移築先に決定。同年秋に、日本初の野外博物館として豊中市立民俗館が開館しました。翌年、日本各地の民家を移築する構想が立てられ、昭和33年には関西の財界が中心となって財団法人を設立。昭和35年、豊中市が財団に合掌造民家の所有権を無償譲渡し、民俗館は日本民家集落博物館となりました。

●地域に根ざした博物館に

このような博物館は全国的にも珍しく、遠方からの見学者や外国人観光客が多く訪れていますが、一方で、地域との交流も大切にしています。



民家で工作を楽しむ

毎朝、民家の囲炉裏に火を入れて来館者を迎えるのは、地域のボランティアの人たちです。民家の解説や植栽の手入れなども担っています。また、蚕を観察したり機織りなど昔の生活を体験しながら民家について学習する「みんかクラブ」や、「子ども茶道体験教室」、子どもと保護者を対象にしたクラブ活動、季節の行事などを催しています。3月の催しは、箏の演奏会（3日・4日）、民家集落作品展（4日～21日）、民家集落公開講座（17日）などが予定されています。

日本民家集落博物館

TEL 06-6862-3137

ホームページ <http://www.occh.or.jp/minka/>

開館 9時30分～17時（入館は16時30分まで）

休館日 月曜日（祝・休日の場合は翌日）、年末年始

入館料 大人500円、高校生300円、小・中学生200円、幼児無料

交通 北大阪急行緑地公園駅から約1キロ

阪急曽根駅から約2キロ

▼お問い合わせ先▼

豊中市政策推進部企画調整室

TEL 06-6858-2525

FAX 06-6858-2667